

2009 年度 財務報告

金融危機の回復初年度にあたる09年度は、ドルの対円レート下落、国債利回りの低下が顕著だったものの、好調なアジア経済に支えられ、回復基調を維持、当財団の保有債券の総合利回りも改善しました。

日本経済は好調なアジア向け輸出に支えられ、 穏やかな回復基調に

2009年度は、前年9月のリーマン破綻が引き起した金融危機や経済の混乱からの回復初年度にあたっています。米・欧政府による緊急金融安定化策や積極的な財政出動、中国政府による大胆な財政政策などにより、世界の金融市場は、今年度に入り4月にはおおむね平静を取り戻しました。

為替市場を見ると、08年9月の危機勃発後、米ドルは円に対しても大幅に下落し、09年1月には87円台をつけました。しかしその後、各国の政策対応の進捗を反映して、09年4月まで反発したため、09年度はおおよそ1ドル100円のスタートとなったものの、その後の米国の超低金利政策と緩慢な景気回復を反映して、ドルの対円レートは年度を通して緩やかに下落を続けました。

日本の株式市場も危機勃発後急落し、日経インデックスは09年3月10日に7,021円まで下落しましたが、その後株価は回復過程をたどり、結果的に同インデックスは今年度36.8%の上昇を記録しました。

日本の国債利回りは危機後急低下し、10年債利回りは08年末には1.155%を記録しましたが、09年度はおおむね1.2%と1.45%のレンジ内で推移いたしました。なお、信用スプレッドは今年度を通じて緩やかに縮小しています。

一方、实体经济活動を振り返ると、バランス・シート調整の続く米国や欧州では、超低金利にかかわらず景気の回復力は極めて脆弱で、テンポも緩慢なものにとどまりました。中国を中心としたアジア新興国はバランス・シート問題という制約を抱えていないため、景気刺激策の効果が顕著に顕われ、回復に力強さがありました。米国のゼロ金利政策も、ドル・キャリー・トレードを通して間接的に新興国の回復要因となっています。

日本経済は財政刺激効果の剥落から、成長は鈍化すると懸念されましたが、好調なアジア向け輸出に支えられ、年度を通じて回復基調を維持しました。

保有債券の評価損が大幅に縮小、 年度の評価損益はプラスに改善

次ページ以降に、09年度の収支計算書、正味財産増減計算書、および貸借対照表の総括表を記載しておりますが、今年度の特徴的な出来事は以下の通りです。

収支計算書に於ける09年度の事業活動収入は17億3,700万円と前年度比6億3,000万円減少していますが、前年度にあった6億円の補助金の影響を除くと、資産運用収入は前年度比ほぼ横ばいとなりました。

なお、今年度の資産運用実績として特徴的なのは、過去2年度にわたって拡大した保有債券の評価損（満期償還保有債券の評価損は注記項目）が今年度は大幅に縮小し、年度の評価損益がプラスになったため、インカム・ゲインに評価損益を加えた総合利回りが大きく改善したことです。

一方、事業活動支出も12億2,600万円とほぼ前年度並みであったため、事業活動収支差額は5億1,100万円となりましたが、特定資産取得支出に11億1,100万円を費やしたため、当期収支差額は▲5億5,800万円となりました。

したがって、前期繰越収支差額から当期収支差額を差し引いた次期繰越収支差額は13億4,400万円となっています。又正味財産増減計算書では、正味財産合計は10億2,100万円増加し09年度の正味財産期末残高は818億6,600万円強となりました。

収支計算書(4月1日から翌年3月31日まで)

(単位：千円)

事業年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
I. 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
基本財産運用収入	892,460	1,273,202	1,038,444	983,658	982,864
基金運用収入	661,480	805,224	874,194	694,652	647,125
特定資産運用収入/雑収入	209,785	289,878	114,496	90,026	107,580
補助金等収入	0	0	0	600,000	0
事業活動収入計	1,763,725	2,368,304	2,027,134	2,368,336	1,737,569
2. 事業活動支出					
事業費支出	1,027,241	1,051,058	1,132,529	906,144	890,695
管理費支出	336,619	322,499	302,319	365,331	306,119
為替評価損支出	0	0	62,551	10,560	29,588
事業活動支出計	1,363,860	1,373,557	1,497,399	1,282,035	1,226,402
事業活動収支差額	399,865	994,747	529,735	1,086,301	511,167
II. 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入	48,375	5,803	3,172	50,079	49,456
投資活動収入計	48,375	5,803	3,172	50,079	49,456
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出	177,558	641,258	363,435	785,080	1,114,873
固定資産取得支出	18,272	31,908	525	3,436	4,356
投資活動支出計	195,830	673,166	363,960	788,516	1,119,229
投資活動収支差額	△ 147,455	△ 667,363	△ 360,788	△ 738,437	△ 1,069,773
III. 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
当期収支差額	252,410	327,384	168,947	347,864	△ 558,606
前期繰越収支差額	806,763	1,059,173	1,386,557	1,555,504	1,903,368
次期繰越収支差額	1,059,173	1,386,557	1,555,504	1,903,368	1,344,762

(注) 2007年度より、新公益法人会計基準(H.16年度基準)を適用しております。それ以前の年度については新基準の様式に組み替えて表示しています。

資産推移表

(単位：千円)



(注) 2007年度より、新公益法人会計基準(H.16年度基準)に基づき、有価証券の時価評価を実施しています。

正味財産増減計算書(4月1日から翌年3月31日まで)

(単位：千円)

事業年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度
I. 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益	—	—	2,291,236	1,794,177	2,547,700
(2) 経常費用	—	—	2,273,212	1,939,115	1,290,900
当期経常増減額	—	—	18,024	△ 144,938	1,256,800
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	—	—	665,448	65,725	9,332
(2) 経常外費用	—	—	23,408	745,748	11,878
当期経常外増減額	—	—	642,040	△ 680,023	△ 2,546
当期一般正味財産増減額	—	—	660,064	△ 824,961	1,254,254
一般正味財産期首残高	—	—	53,348,265	54,008,329	53,183,368
一般正味財産期末残高	—	—	54,008,329	53,183,368	54,437,622
II. 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	—	—	△ 1,772,969	△ 64,835	△ 232,948
指定正味財産期首残高	—	—	29,500,000	27,727,031	27,662,196
指定正味財産期末残高	—	—	27,727,031	27,662,196	27,429,248
III. 正味財産期末残高					
	—	—	81,735,360	80,845,564	81,866,870

(注) 2007年度より、新公益法人会計基準(H.16年度基準)を適用しております。旧会計基準で作成した正味財産増減計算書は、様式が異なるため記載していません。

貸借対照表

(単位：千円)

事業年度	2005年度末	2006年度末	2007年度末	2008年度末	2009年度末
I. 資産の部					
1. 流動資産					
現預金	493,064	596,594	573,201	435,873	530,139
有価証券	656,722	853,590	1,071,038	1,555,092	925,080
その他	26,038	67,299	337,720	383,605	328,309
流動資産合計	1,175,824	1,517,483	1,981,959	2,374,570	1,783,528
2. 固定資産					
基本財産	50,000,000	50,000,000	49,978,805	49,513,075	50,171,117
特定基金	29,500,000	29,500,000	27,727,031	27,064,734	26,880,872
その他	1,417,101	2,072,251	2,343,961	2,144,334	3,303,663
固定資産合計	80,917,101	81,572,251	80,049,797	78,722,143	80,355,652
資産合計	82,092,925	83,089,734	82,031,756	81,096,713	82,139,180
II. 負債の部					
流動負債合計	116,651	130,926	139,775	131,262	138,650
固定負債合計	104,088	110,543	156,621	119,887	133,661
負債合計	220,739	241,469	296,396	251,149	272,311
III. 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
(うち基金への充当額)	—	—	(27,727,031)	(27,064,735)	(26,880,872)
(うち特定資産への充当額)	—	—	(0)	(597,461)	(548,375)
2. 一般正味財産					
(うち基本財産への充当額)	—	—	(49,978,805)	(49,513,075)	(50,171,117)
(うち特定資産への充当額)	—	—	(2,113,305)	(1,368,140)	(2,575,505)
正味財産合計	81,872,186	82,848,265	81,735,360	80,845,564	81,866,869
負債及び正味財産合計	82,092,925	83,089,734	82,031,756	81,096,713	82,139,180

(注) 2007年度より、新公益法人会計基準(H.16年度基準)に基づき、正味財産を区分表示しています。